早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

第三期活動報告書

2024.4 - 2025.3
ANNUAL REPORT



©2025 Waseda Career Society

目次

01 Who We Are

3 at a Glance
4 Purpose
5 第三期代表挨拶/役職者紹介
7 活動モデル

02 What We Do

9 Year in Review
10 活動サマリ
11 成果と進捗

03 Next Steps

28 第四期代表挨拶/責任者紹介
30 次年度目標
33 今後の取り組み

04 Appendix

35 Member Interview
38 会計報告
39 第三期運営メンバー名簿

05 Special Thanks

41 後援・協賛・賛助・協力

©2025 Waseda Career Society

01. Who We Are

at a Glance 3
Our Purpose 4
第三期代表挨拶/責任者紹介 5
活動モデル 7

©2025 Waseda Career Society

at a Glance

一目でわかるキャリ研

パーパス

P. 5

学生が納得したキャリアを選ぶために、キャリアの選択肢を増やす

会員数

P. 16

156名

昨年度継続者70名

新規入会者86名

会員の学部のばらつき

標準偏差 5.1 →4.6

協働した企業数

P. 11

11社

参加者数が最も多かったイベント

50名 Lifortune株式会社様 共催 経営者交流会

※参加した学生・社会人の総数

実施した総イベント数

P. 16,20



外部講座イベント 9回

※学生が実施した講座を除く



コミュニティ活動 8回

運営メンバー数

P. 18

(第一期) 6名 → 43名

※最大時

4年生 5名

3年生 11名

2年生 15名

1年生 12名



ボードメンバー制度の制定・実行

©2025 Waseda Career Society

INCREASE STUDENTS' CAREER CHOICES

PURPOSE

学生が納得したキャリアを選ぶために、キャリアの選択肢を増やす

「新入社員の 3 割が 3 年で辞める」という言説は有名です。
しかし、これは決して若者の忍耐力が下がったからでも、また企業が若者に意地悪をしたからでもありません。
私たちは、これが **就活におけるミスマッチ** によって生じていると考えます。
さまざまなキャリアの選択肢が存在するにも関わらず、固定的なイメージや学生の無思考により、
学生は自ら **選択肢** を閉ざしているのではないか。
だからこそ、納得した就活ができず、他の可能性を模索して職を離れるのではないか。

私たちは、学生が幅広いキャリアの選択肢を知ることと、選択を主体的に行えるよう
就活で評価されるスキルの習得を手助けしていきます。

©2025 Waseda Career Society

未来へ飛躍する基盤づくり



TOP MESSAGE

私達は2022年度のコロナ禍に、「学生のキャリアの選択肢を広げる」という理念の元結成され、
今に至るまでの3年間、早稲田生を中心に学生が納得したキャリアを選ぶことができるための活動を
行ってまいりました。第三期では以前に比べご協働してくださる企業様の数が格段に増え、前年度からの
素晴らしいご縁が続きながらも、新たに弊会と「早稲田生に向けてイベントを開きたい」と仰って
くださる大勢の社会人の方がいらっしゃいました。
本報告書では、そんな第三期の活動の全てを余すことなく掲載しております。
引き続きお目通しいただければ幸いです。

第三期最大のトピックは、会員数が飛躍的に増加したことです。組織が一気に拡大した結果、
それまで少人数体制だからこそ可能だった「顔が見える運営」や「属人的なタスク処理」が限界を迎えました。そこで私たちは、マネジメント体制の再設計や研修プログラムの整備による会員一人ひとりの能力向上といった改革に着手し、急成長を支える組織基盤づくりを進めてまいりました。これらの取り組みはまだ道半ばではありますが、確かな手応えを感じております。
来期は、この新たに整えた基盤を活かし、より質の高いイベントや長期的なプロジェクトを展開してまいります。

最後になりますが、今年度に弊会に関わってくださった全ての企業様、各種活動に参加してくださった社会人の方や学生の皆様、その他弊会の運営を多様な形で支えてくださった皆様に、この場を借りて
感謝申し上げます。
頼もしい後輩たちが育っております。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

早稲田キャリア研究会 第三期代表
郡司 遼太郎

©2025 Waseda Career Society

第三期 運営責任者紹介

2024年度における会運営の責任者一覧です。



代表

郡司 遼太郎



副代表/講座編成局長

植木 健介



会計

藤嶋 大暉



総務補佐/広報局長

中井 幸哉



総務補佐/渉外副局長

丹羽 寧惟



イベント局長

近藤 量太



渉外局長

太田 丸朗

©2025 Waseda Career Society

活動モデル

各局に所属するボードメンバーが、活動理念に沿って団体における活動を企画・実行していきます。

活動母体	活動理念	具体的な活動

運営(ボード)

総務局
活動の責任者として、
全局の監督を行う

開発局
通常活動の核となる
講座を企画・実行する

渉外局
団体外部と協働し、
企画の調整役を担う

広報局
団体の活動を発信し、
外部との接点となる

イベント局
団体メンバーを繋ぐ
イベントを企画・実行する

パーパス

学生が納得したキャリアを
選ぶために、キャリアの
選択肢を増やす

1st キャリアの選択肢を知る

将来のキャリアにおいて
選びうる可能性を知り、
最適なものを検討する

- **自分を知る** — **自分の価値観を掘り下げ、深く理解する活動**
  自己分析会、キャリア選択に関する公演など
- **キャリアを知る** — **仕事の選択肢について知る活動**
  業界分析講座など
- **他人を知る** — **多様な価値観を持った会員との交流を促す活動**
  夏/冬合宿、季節のイベント、活動後のご飯会など

2nd キャリアに向けスキルを磨く

目標のキャリアに向け、
大学生のうちに
すべきことを実行する

- **就活対策** — **実際の就職活動を支援する活動**
  ES添削会、GD対策会、ケース対策会など
- **実績を積む** — **「学生時代に頑張ったこと」を作る活動**
  ボード活動、グループワークコンテンツなど
- **教養を得る** — **社会人と仕事ができるようになるための活動**
  論理思考講座、社会人との交流会、教養講座など

©2025 Waseda Career Society

02. What We Do

Year in Review 9

活動サマリ 10

成果と進捗 11

- 成果(対内活動) 12
- 成果(対外活動) 19
- 進捗 26

©2025 Waseda Career Society

Year in Review

第3期では、前期はコミュニティ内部での活動、後期は外部企業との活動に注力しさらなる飛躍を図った

内部活動

2024.4
・第2期からの引き継ぎが完了する
・2024年度新歓活動を開始
これまでの新歓企画に加え、ランチ会やより活動を体験できるグループディスカッション体験会を実施

2024.5
・新歓活動が終了、100名を超える大所帯に
・新運営メンバーを募る「局新歓」活動
・春学期講座開始

2024.6
・ディスカッション型の活動に注力
・ビジネスマナー講座を実施
・団体内イベントにてスポーツ大会の開催

2024.7
・学年別交流会の実施

2024.8
夏季休暇

2024.9
・夏合宿を早稲田大学軽井沢セミナーハウスにて実施

2024.10
・秋学期講座を開始
・「秋季キックオフ交流会」を開催

2024.11
・早稲田祭に参加し飲食店出店

2024.12
・24年度キャリア研究会総会(OB総会）の実施
・秋学期講座が終了
・クリスマスパーティーを開催

2025.1
・次期幹部立候補調査を実施。

2025.2
・冬合宿を開催
・第 4 期幹部を発表

2025.3
・春新歓を開始
・新歓特設サイトを開設
・追い出しコンパを開催予定
・第二回ボードミーティングを開催予定

対外活動

2024.4
・リソー教育様と協働で、新入生向けのチラシを印刷し配布

2024.5

2024.6
・経営者交流会を実施し、学生と経営者の交流機会の創出

2024.7
・CPA会計学院様と「士業交流会」を開催
・新規事業立案コンペティションの実施
→日本駐車場開発(株)様のご協力

2024.8
・大渉外プロジェクトを実施し、企業に対して積極的に協賛・協力依頼活動

2024.9
・大渉外プロジェクトを実施し、企業に対して積極的に協賛・協力依頼活動

2024.10
・日本ヒルティ様協力の下、外資系キャリアについて研究
・日本経営心理士協会様との協力の下「士業交流会」を実施

2024.11
・タマホーム創業者・現会長玉木様講演会の実施
・QuestResearch(株）の協力の下、「戦略コンサルタントのキャリア」
・POP UP CAMPUS運営への参加

2024.12
・PwC様による講座開催「企業分析講座」
・Lifortune様によるキャリアセミナー
．ガイアックス(株)様による「ベンチャーの視点から考える課題意識」
・アチーブメント(株) 様による「キャリアデザインの本質を知る」

2025.1

2025.2

2025.3

©2025 Waseda Career Society

活動サマリ

今年度の内部活動/対外活動における成果の一覧です。

内部活動

P. 11

1 .外部企業とのつながり強化

渉外活動を強化し、大企業を中心に企業の接点増加

2 .交流イベントの開催

コミュニティとしての活動を強化

3 .会員数の拡大

春秋の新歓を経て、会員数が100名を突破

4 .運営基盤の整備

機能別組織を整備し、総勢30名がボードメンバーとして参画

5 .団体総会(OB総会）の開始

団体活動の年次報告をOB会含めて実施

対外活動

P. 21

1 .Lifortune株式会社

2回の経営者交流会の開催

2 .CPAエクセレントパートナーズ株式会社

士業交流会、企業の読み取り方講座の実施

3 .日本駐車場開発株式会社

ビジネスコンテストの共同開催

4 .日本ヒルティ株式会社

外資系企業でのキャリア実施講座

5 .タマホーム株式会社

玉木会長による講演会

6 .PwC Japan合同会社

財務会計の観点から企業分析講座の実施

7 .株式会社Quest

戦略コンサルタントへのキャリア講座の実施

8 .日本経営心理士協会

士業交流会の実施

9.株式会社ガイアックス

「ベンチャー企業の視点から見た課題解決」をテーマとした講座

10.アチーブメント株式会社

「キャリアデザインの本質を知る」をテーマとした講座

11.パーソルHD株式会社

「はたらく」を考えるワークショップを実施

©2025 Waseda Career Society

1.今期の主要な活動のご紹介

新規事業立案コンテスト（ビジネスコンテスト）

日本駐車場開発様と協働により、企業内新規事業立案コンペを団体内部で開催





タマホーム会長講演

「経済界のリーダー目線から見た若者の未来について」
タマホーム会長様による講演会を主催





Career Clossover

パーソルグループ様と自分に合った「はたらく」を考えるをテーマにしたワークショップを早稲田キャンパスにて開催





Pop Up Campus

規格体験型ワークショップを通して、企業理解や自己理解を深められるイベントに参画



©2025 Waseda Career Society

CASE STUDY

External Relations Activities

企業渉外活動の強化

2024年度では、
運営陣の方針として活動協力していただける
企業様との新しいつながりをさらに増やしていきたい
という強い思いのもと、体制を整え渉外活動を行いました.

数十社におよぶ企業へのコンタクト、
交渉を通じて新しいつながりを獲得できた他、
このPJを通じて会員の成長も多く見られました

SPECIAL FEATURE

©2025 Waseda Career Society

CASE STUDY
External Relationships Activities
企業渉外活動の強化

Idea Plan Do Next

SPECIAL FEATURE

1.Idea

キャリアについて生の新鮮な話にふれる機会の減少

第3期には、豊富なキャリア知見を持った創立代が抜け、キャリア選択についての質の高い情報を伝えられていないことへの危機感

「キャリアの選択肢を増やす」という目的に沿う活動の実施には、ビジネスの現場でご活躍されている企業の方々に来ていただくことが最善

2.Plan

大渉外PJの企画

副代表植木が先導、およびPJリーダー
渉外局と開発局の2局が協力体制を組む

・開発局…交渉候補の企業選定、共同活動のプラン構築
・渉外局…実際に企業へのコンタクト、交渉

下級生でも戦力となれるように、研修活動も準備

3.Do

企業との新規案件の獲得

実際に複数の企業との案件を獲得.
今まで協業実績のなかった、コンサルティングファームやシンクタンク、外資系企業との講座を開催. 今後は協賛金の獲得のプログラムを構築し、さらに団体としての規模の拡大および、知名度向上を目指す

4.Next

企業とのつながりをさらに増やし、より現場に近い視点からキャリア選択を考えていく

企業様とのつながりをより多く、密にしていくことで弊会の目標である「学生のキャリアの選択肢を増やす」ことを達成できると考えている. ビジネスの現場に近い生の情報、経験から得られるインスピレーションを会員に提供したい. 今後も様々な企業の方々のご協力をいただきながら、さらに弊会の発展を目指す

渉外研修の様子



企業送付の企画書



SPECIAL FEATURE

CASE STUDY
External Relationships Activities
企業渉外活動の強化

Idea Plan Do Next

©2025 Waseda Career Society

2.イベントの開催

公式/非公式ともに、会員同士が仲良くなれるイベントを多数開催しました。

キックオフBBQ





早慶戦

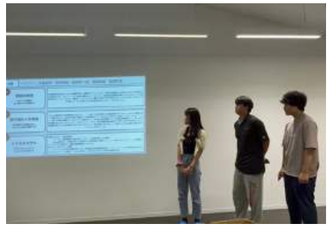


球技大会



夏合宿





早稲田祭





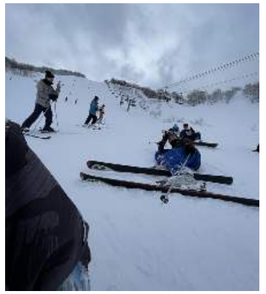
クリスマス会





冬合宿





追い出しコンパ





Official

Unofficial

富士山ドライブ



活動後のご飯会



吉祥寺会



局内旅行



プリン会



その他
・BBQ
・スポッチャ
・ボードゲーム会
など

©2025 Waseda Career Society

3.会員数の拡大

会員数が前年度より大幅に拡大し、また会員の属する学部も多様化しました。

年間会員数

第3期では**合計会員数は前期の2倍、155名を超え学内でも有数の大規模サークルへ**の成長を遂げた。
前年度と比べ大幅に会員数が拡大する。
学内総合情報誌への掲載と、新歓期におけるSNSによる積極的な広報、および年々早期化する、就職活動への学生の焦りも大きな要因といえる。

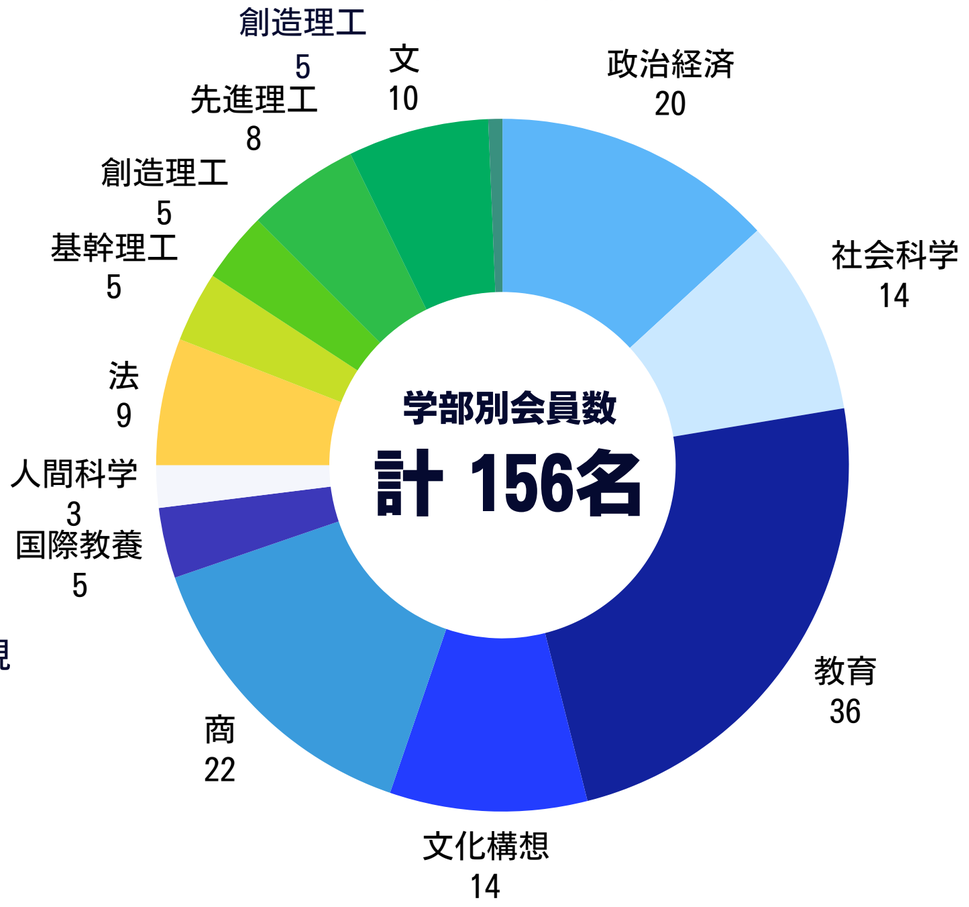
学部別会員割合

第3期では、第2期より引き続き学部毎の多様性は担保。理系の会員も前年度と比べ増加した。新歓時期の活動で各キャンパス毎に新歓も実施していることが大きな要因となる。今後も学部をまたいだ交流により、一層活動への多様性に繋げていきたい。

展望

昨年度にあげていた**会員数100名**の目標は大幅に達成した．団体としても非常に大きな規模となり、今後より大規模なイベントにもチャレンジする土台作りに成功。
第三期では会員数の増加に関わり、かつ会員の年間満足度を表すとして
次年度継続率を重要達成度指標に設定。継続率60%を目標とし、その達成を目指す。

第3期 会員の学部



©2025 Waseda Career Society

4.運営基盤の整備

運営体制が整備され、運営に関わるメンバーが増加してより安定した組織となりました。

ボード運営制度概要

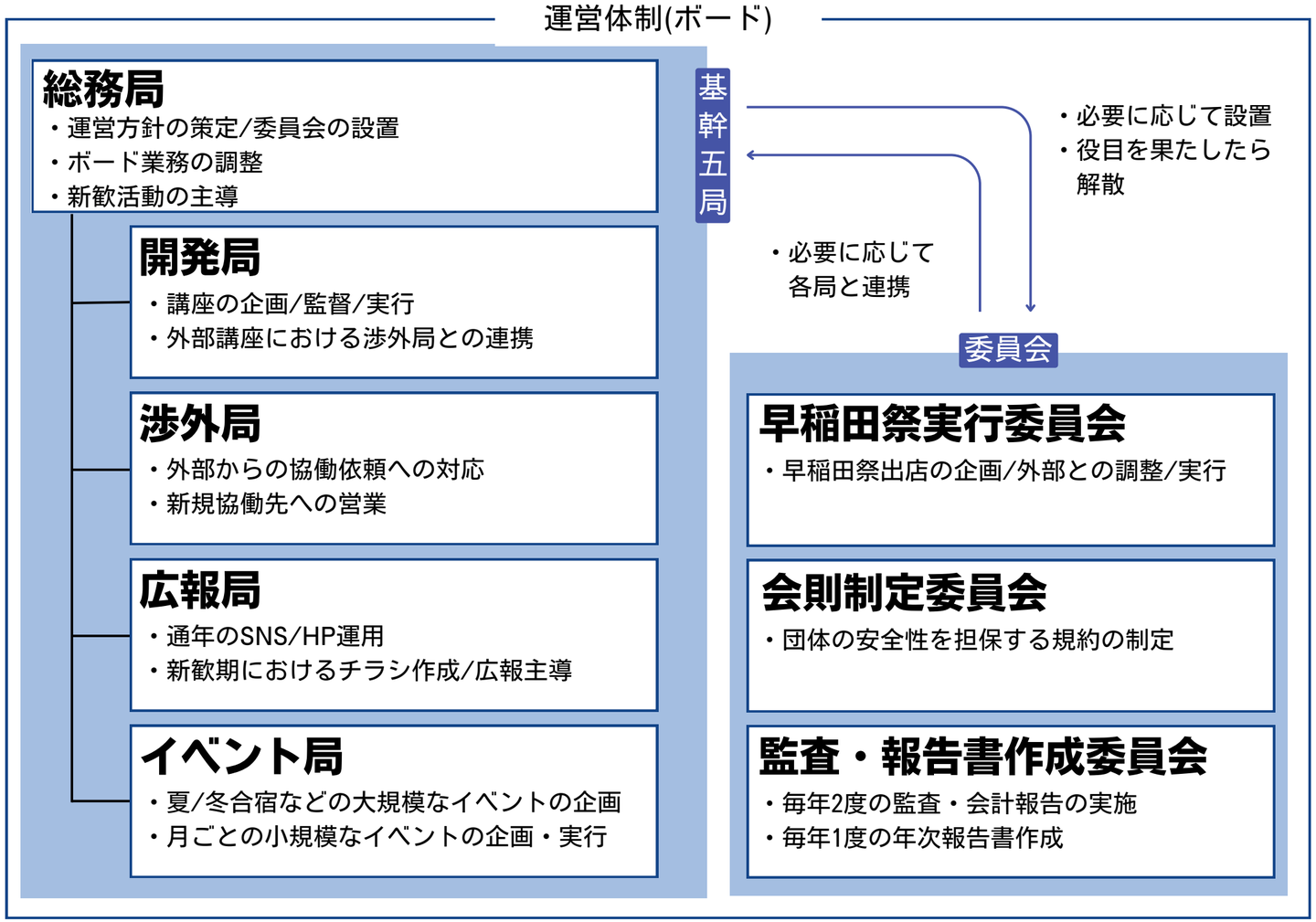
「①業務の拡大」「②属人化の解消」を目的とし、第1期に機能不全となった局制度を再編。運営方針・人材獲得を統括する**総務局**、通常活動の核となる講座を企画・実行する**開発局**、団体外部と協働して企画の調整役を担う**渉外局**、団体の活動を発信し、外部との接点となる**広報局**、団体メンバーを繋ぐイベントを企画・実行する**イベント局**の通年業務を行う五局を設置。
加えて、一時的な業務を実行する委員会を設置。
これら運営制度をオープンにし、会員が自由に参加・離脱可能に。
運営に関わってくれる会員を「ボードメンバー」と呼称。

局・委員会における活動

- **局定例/委員会定例**
  情報共有・意思決定・タスクの割り振りのため、各局・委員会内部で毎週1度定例を実施。
- **局長定例**
  各局連携のため、各局の局長と総務局のメンバーで毎週1度局長定例を実施。
- **ボードミーティング**
  ボードメンバー全体で目標設定・意見交換のため、年に2度ボードミーティングを開催。

成果と展望

ボード運営制度の導入により、運営に関与する**ボードメンバーは年間6名から43名へと増加**。総務局のメンバーが他局の局長を兼ねるケースが多かったため、第3期は総務局でない局長を置くことにより業務集中を解消/能動的に運営に関わる場をより多く設けていく。



©2025 Waseda Career Society

1.Lifortune株式会社

概要

・第 3 期春季に、「第6回経営者交流会」の実施

ご協働の内容

第一期より弊会のために経営者交流会を開催して頂いており、第二期では二回の経営者交流会を開催。延べ学生70名、経営者を含む社会人40名程を招いた。学生が経営者と交流し、食事を取りながら思い思いに会話を楽しむ場となった。
第一期より全体的に規模を拡大し、一度の開催につき学生35名強、企業10社をお招きした。第五回経営者交流会では会場のランクも向上させ、グレースバリの宴会場にて開催。
当イベントは社会人からも評判が良く、中には過去に経営者交流会に参加してくださった方がリピートしてくださるケースも見られた。
また、第四回経営者交流会では動画メディア「bouncy」様からの取材を受け、取り組みが記事として紹介された。
記事はコチラ。

イベント写真

第四回経営者交流会の様子



第六回経営者交流会の様子







©2025 Waseda Career Society

2.CPAエクセレントパートナーズ株式会社

概要

- **第 3 期春季に、「士業交流会」の実施**
- **第 3 期秋季に、「企業の読み取り方講座」の実施**

ご協働の内容

早稲田大学の多くのサークルと提携しているCPA会計学院様と、士業について将来のキャリアの選択肢として知ることができる機会作りをしていただいた。
春学期に行われた士業交流会では、アガルートアカデミー様のご協力もあり、弁護士、公認会計士、公務員の資格を持つ方に来ていただき、座談会を通して会員の士業に関する理解を深めることができた。
秋学期に行われた企業の読み取り方講座では、公認会計士の方から財務諸表の読み方を教えていただく勉強会を実施した。財務諸表のいろはを学んだ後、会員同士で財務諸表を読み合って意見交流する姿も見られた。また企業の読み取り方講座の後には、公認会計士の方と学生で公認会計士資格を取られた方との座談会が行われた。積極的な意見交換が繰り広げられ、士業についての会員の理解が深まった。

イベント写真

士業交流会の様子



企業の読み取り方講座の様子







©2025 Waseda Career Society

3.日本駐車場開発株式会社

概要

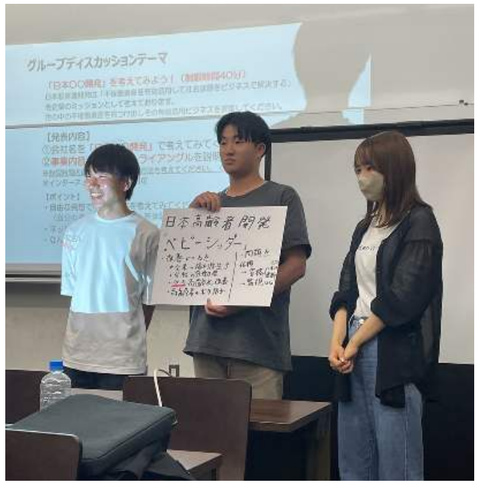
・第 3 期春季に、弊会と協同で団体内ビジネスコンテストを開催

ご協働の内容

早稲田キャンパスに、同社社長、人事部長、新規事業担当の社員の方にお越しいただき、「日本〇〇開発を考える」をテーマに、国内で使い切れていない経営資源を見つけてビジネスコンテストを実施。







4.日本ヒルティ株式会社

概要

・第 3 期秋季に、「外資系企業のキャリア」を考えるをテーマにキャリアイベントを実施

ご協働の内容

同社社員の方、複数名に早稲田キャンパスにお越しいただき、キャリアイベントを実施。
・なぜ外資系のキャリアを選んだか
・日系企業との違いは
・グローバルキャリアを進むにはどうすればよいか
以上の内容で、パネルディスカッションと座談会を実施。



©2025 Waseda Career Society

5.タマホーム株式会社

概要

・第 3 期秋季に、同社創業者であり現会長の玉木氏を招待し講演会を早稲田キャンパスにて実施

ご協働の内容

タマホーム株式会社の創業者玉木氏にお越しいただき、ご自身の人生、経営人生についてご講演いただいた。また学生に対する今後の人生についてのアドバイスも含めた熱いお話が伺えた。学生からの質問も殺到した非常に盛り上がりの見せた講演会となった。





6.PwC Japan合同会社

概要

・第 3 期秋季に、同社社員との交流会への集客を実施

ご協働の内容

大手町オフィスでの社員との交流会・オフィスツアーを行った。
社員様と学生の交流も活発に行われ、日本を代表する大手コンサルティングファームの雰囲気を肌で感じることができた。

©2025 Waseda Career Society

7.株式会社Quest

概要

・第 3 期秋季に、同社COO小梶氏を招待し、「戦略コンサルタントが歩むキャリア」をテーマに講演会を実施

ご協働の内容

第3期副代表植木が長期インターンとして働かせていただいている、QuestResearchより、戦略コンサルティングファームBCGにてPrincipalまで勤められた小梶氏に戦略コンサルのキャリアについてのご講演に加え、ケース面接練習会を実施．コンサルファームに興味のある学生が集い、積極的な議論が交わされた。



8.日本経営心理士協会

概要

・第 3 期秋季に、「士業交流会」を早稲田キャンパスにて実施

ご協働の内容

早稲田キャンパスにて、弁護士、公認会計士をはじめとする難関資格の士業の方々にお越しいただき、士業特有のキャリアについて座談会形式にてお話いただくことができました。



©2025 Waseda Career Society

9.ガイアックス株式会社

概要

・第 3 期秋季に、「スタートアップの視点からの課題解決」をテーマにご講演いただいた

ご協働の内容

ガイアックスの方実際にお越しいただき、ご自身のビジネス経験も踏まえながら、スタートアップの魅力と社会に対するインパクトについてご講演いただいた。



10.アチーブメント株式会社

概要

・第 3 期秋季に「キャリアデザインの本質を知る」をテーマに自己分析ワークを実施

ご協働の内容

早稲田キャンパスに同社社員の方々を招聘し、大学生が理想のキャリアを歩むためにはどのようにすればよいかを考える自己分析イベントを企画の上実施。



©2025 Waseda Career Society

12.パーソルＨＤ株式会社

概要

・第３期秋季に、パーソルグループ様と自分に合った「はたらく」を考えるをテーマにしたワークショップを開催した。

ご協働の内容

大学低学年向けに、社会人のキャリア観や仕事観をインプットたうえで、自分にとっての「はたらく」を考えてもらうことを目的としたイベントを企画・実施した。





©2025 Waseda Career Society

03. Next Steps

第三期代表挨拶/責任者紹介 28
次年度目標 30
今後の取り組み 33



©2025 Waseda Career Society

イズムを継承しつつ、さらなる変革を。



GREETINGS FROM THE FORTH

早稲田キャリア研究会の4代目代表に就任いたしました、早稲田大学基幹理工学部3年の中井幸哉と申します。
第四期運営メンバーを代表してご挨拶させていただきます。

昨年度は会員数も100名を超え、サークルの大規模化が進みました。今までになかった大企業との協働も実現するなど、大きな飛躍をとげた一年でした。その一方、急速な大規模化によって会員に対する運営陣の不足や会員のニーズに応えきれないことなど、様々な課題が露呈した一年でもありました。その中でも大きな変革として、「学生団体的側面の強化」があげられます。就活に特化したサークル内団体“WCS Authentic Salon”の開始や開発局の始動など、より学生同士でレベルアップできる団体へと成長できたのではないかと思います。また、開発局の始動に伴ってサークルの局制度がほとんど完成される形となりました。これによって、今までの数名の幹部陣が作った講座を会員に提供するという形から、局員が他の局員や会員に講座を実施するという活動形態へと変化することとなりました。本年度は、この流れを引き継いで学生同士でレベルアップできる環境を整えるため、会員を「メンバー」「コミュニティ」「グループ」の3形態に分け、学生団体的側面の強化を図りつつもそれによってサークル的・コミュニティ的側面が失われない団体運営を目指していきます。「メンバー」は、「メンバー全員で活動を作っていく」ことを通じて帰属意識を高め、学生団体として活動を行っていきます。「コミュニティ」はメンバーと比べてサークルとしての性質を強めることで、えてして参加へのハードルが上がりがちな「学生団体」になりすぎず、「サークル」としての側面を失わない団体を目指します。そして、昨年度の大きな課題であった「集客に苦労した結果、会員でない学生が何度も活動に参加していた」という問題を解決するのが「グループ」です。入会手続きや会費の支払いといった入会へのハードルを排し、気軽に活動へ参加してもらうことを目的として新設しました。

さて、今年度の継続会員は、創設代のイズムを直接受け継ぐ最後の代となりました。すなわち、今までの弊団体の変遷を理解し、ともに成長してきたメンバーといえます。その一方で、創設代の思いを知る最後の代だからこそ、伝統にとらわれない変革のチャンスでもあると考えています。そんな中でキャリ研を運営できることをとてもうれしく思います。弊団体は昨年に引き続き、活動への出席率低下や会議での議論が闊達でないことなどたくさんの課題を抱えています。いよいよ4代目となりました。創設以来受け継いできた文化を守りつつ、新たな風を吹かせます。

会員のため、協賛してくださる企業様のため、そして団体の未来のために運営一同尽力いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

早稲田キャリア研究会 第四期代表
中井 幸哉

©2025 Waseda Career Society

第四期 運営責任者紹介

2025年度における会運営の責任者一覧です。



代表

中井　幸哉



副代表

太田　丸朗



副代表

安部　創登



会計/渉外局長

福﨑　ひとみ



会計/広報局長

西村　渉吾



開発局長

島田　奏祐

©2025 Waseda Career Society

Annual Goal

第三期 年間目標

それぞれの会員が、“今”と“未来”の両方で理想のキャリアを歩めるようにしよう

"キャリア"という言葉は、元々馬車が通った後にできる車輪の跡、すなわち"轍(わだち)"を指す言葉であった。

人生を一本の道と考えると、そこに形作られる"轍"は決して仕事だけのものではない。

人生を形作る要素には、働くこと以外にも趣味や、友人や、学びや、恋愛だってあるはずだからだ。

ならば、"キャリア"という言葉も、"ある人がその人生において、経験する全ての出来事"を指す言葉として捉えてもよいのではないか。

私たちは、キャリアを広義の意味で捉え、将来のキャリアに加えて現在のキャリア、即ち大学生活でも、理想の轍が描けるよう、全力で応援する。

©2025 Waseda Career Society

定量指標・バリュー

第 4 期では、5つの定量目標を設定し、4つの価値を守りながら運営・活動を行っていきます。

Quantitative Indicator

- 新入会員数：メンバー　**20** 名以上
- 半期ごとの満足度調査（活動を通じて成長したと思うか）：**60** %

Our Value

・すべての活動が会員の成長につながるように

キャリ研の活動・イベントが会員の成長を促すような質を担保

・活動を通じて関わるすべての人たちを大切に

様々な方の協力があってこその活動だということを忘れず、
キャリ研を支えてくれる全ての方を大事に

・推進力を維持しつつ、組織の安定化を目指す

設立3年目の団体としてサークルのさらなる成長とともに、
今後の継続を目指した組織の安定化

・キャリアに真摯に取り組む早大生が集まるコミュニティ作り

自分の将来について真剣に考える早大生のためのコミュニティを目指す

©2025 Waseda Career Society

第 4 期局目標

第 4 期では、各局ごとに活動目的に沿った目標を設定し、その達成を目指します。

局	活動目的	局目標
開発局	通常活動の核となる 講座を企画・実行する	・開発局全員が1人1講座以上を受け持ち、企画/実行する ・キャリ研会員が活動を通じて知識を得て、それを実践に移せるような環境を構築する
渉外局	団体外部と協働し、 企画の調整役を担う	・渉外力向上プログラムを作成し、育成システムを確立する。 ・他局と連携し、渉外にしかない価値を創出する
広報局	団体の活動を発信し、 外部との接点となる	・各メディアでの週一投稿 ・各局員が広報の幅を広げることを目指し、役割を持って投稿に取り組む
イベント局	団体メンバーを繋ぐ イベントを企画・実行する	・各学期それぞれ3回以上イベントを開催する ・局員1人1人がローテーションでイベントを企画/実行する

©2025 Waseda Career Society

今後の取り組み

次年度は、より実践的なイベントの拡充や運営の最適化に取り組んでまいります。

取り組む課題	課題の詳細	次年度以降の施策
会員層の乖離	活動によく参加するアクティブ層とそうで無い非アクティブ層でニーズなどの乖離が起きていた	• 有料会員のメンバー（運営）・コミュニティと無料会員のグループに会員を階層分けした • すべての層が満足できるよう各層それぞれにに向けた活動を展開していく
高学年向け実践活動の不足	活動が低学年向けのものが多く高学年向けの実践的活動が不足していた	• キャリ研の「縦のつながりが強い」という特性を生かし 4 年生の協力のもと 3 年生以上向けの就活実践活動を行っていく • 今まで培った企業とのつながりを活用し、企業の方を交えた模擬面接などの実践活動を行っていく
活動で得たものを実践する意識の不足	運営で得た経験値をサークル活動外などで活かす意識が会全体としてはなかった	• 月に一度定期報告会を行い互いの活動について情報交換する機会を提供する

©2025 Waseda Career Society

04. Appendix

Member Interview 35
会計報告 38
運営メンバー名簿 39



©2025 Waseda Career Society

Member Interview

会員インタビュー　1/3



第四期 開発局局長・総務局局員

島田 奏祐

Q.早稲田キャリア研究会に入った理由はなんですか？

A.将来に漠然とした不安があり、自分の視野を広げ、将来について前向きに語り合える意識の高い人たちと関わりたかったからです。また、さまざまな学部の人と交流し、多様な価値観に触れられるコミュニティに身を置きたいと考えたからです。

Q.早稲田キャリア研究会に入る前と後とでどんな変化がありましたか？

A.入学当初は自分の将来について何もわからない状態でしたが、活動を通じて社会人に求められる教養や知識、そして多様なキャリアの可能性に触れることができました。その経験を通じて、自分の価値観や理想の働き方を少しずつ言語化できるようになり、将来に対して主体的かつ前向きに向き合えるようになりました。

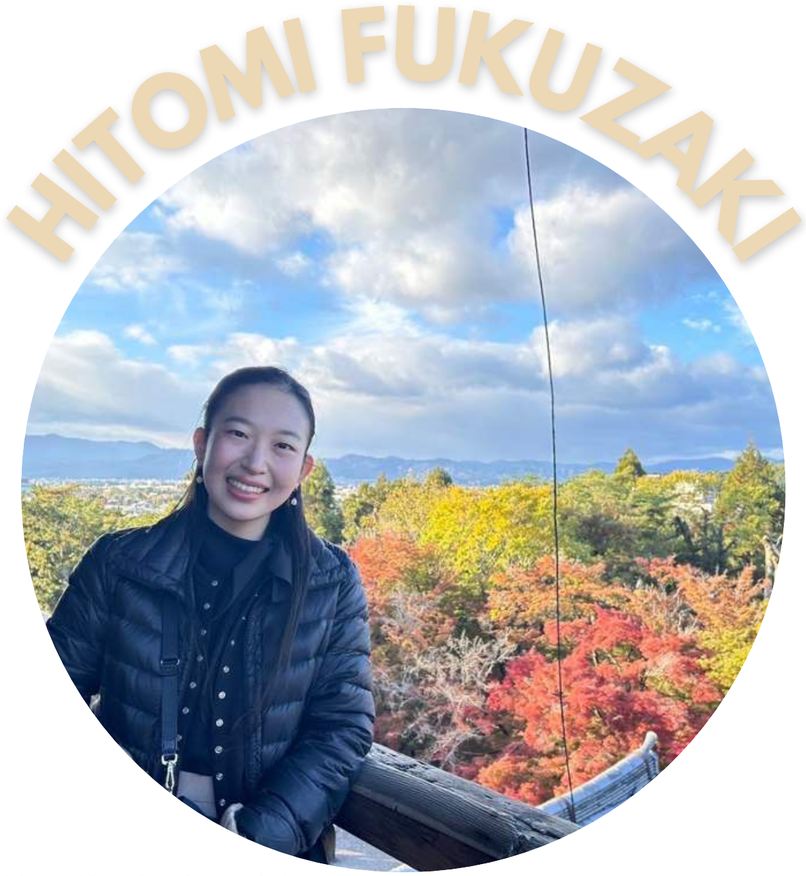
Q.今後頑張っていきたいことを教えてください！

A.サークルの運営に関わる身として、参加者に将来につながる学びや、自分の可能性に気づけるような機会を提供できるよう努めたいと考えています。また、自分自身が納得のいくキャリアを築くために、まずは就職活動に焦点を当て、自分への理解を深めながら、実践的な知識やスキルを身につけたいと思います。そのためにサークル外にも目を向け、インターンなど多様な活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

©2025 Waseda Career Society

Member Interview

会員インタビュー　2/3



第四期 会計・渉外局局長

福﨑 ひとみ

Q.早稲田キャリア研究会に入った理由はなんですか？

キャリアというと、＝就職活動のように思えるが、そうではなく人生全般のことであるというお話を聞いて、自分の人生の中で何を大切にしたいかによって、キャリアを形成していくという考え方でキャリアを捉えられる場所だと思ったからです。また、多くの人に出会い、さまざまな価値観に触れ、それによって自分の将来を考える機会を、大学生活を通して意図的にかつ恒常的に持ち続けられると思ったからです。

Q.早稲田キャリア研究会に入る前と後とでどんな変化がありましたか？

A.特に運営に入ってから多くのことが変わりました。自分の得意不得意なことに気がつき、自分という人間を多角的に見る機会が増えて、自分の社会の中での価値を考えるようになりました。また就職に関しても大きく見方が変わりました。企業や、就職に必要な知識を身につけることよりも、自分自身について知る事や理解をし自分の軸を育てていく事こそが大切なのだとわかりました。

Q.これからどんなことにチャレンジしていきたいですか？

A.まず今年は役職をいただいたので、自分自身の成長に繋がる機会を逃さないように、さまざまな事に取り組みたいです。ただ取り組むよりも、自分らしさを忘れずに、自分の価値をさらに磨いていきたいです。そして周りのメンバーが自分らしくいられる場所となるように、サークルの運営を頑張りたいと思います。

©2025 Waseda Career Society

Member Interview

会員インタビュー　3/3



第四期 開発局局員

坂元 里香

Q.早稲田キャリア研究会に入った理由はなんですか？

A.就職活動は情報戦であるため、有益な情報を得る機会を増やしたいと思い、キャリ研への入会を決めました。まだ具体的な志望業界は定まっていませんが、様々な情報に触れ、自分の視野を広げたいと考えています。

Q.早稲田キャリア研究会に入る前と後とでどんな変化がありましたか？

A.入会前に比べ、就職活動に対する不安が大きく軽減されました。先輩方から体験談を伺う機会があり、とても心強く感じました。また、講座を通じて自分の考えを言語化する力がついたと実感しています。

Q.今後頑張っていきたいことを教えてください！

A.まずは自己分析を丁寧に行い、自分に合った業界や職種を見つけたいと考えています。そのうえで、志望理由をしっかりと伝えられるような準備を積み重ねていきたいです。

©2025 Waseda Career Society

2024年度 会計報告

自2024/03/21 至2025/03/28

支出の部			収入の部		
項目	摘要	金額	項目	摘要	金額
通信費	Slack	¥35,664	前年度繰越		¥296,792
	Zoom	¥23,375	会費		¥462,000
	Wix	¥59,510	協賛金	CPA会計学院様	¥40,000
	Canva	¥12,000		Percify株式会社様	¥62,000
	公式ライン	¥44,000	その他	利息	¥1,685
広報宣伝費	宣材写真撮影	¥15,000		イベント繰越（学園祭等）	¥52,822
	名刺	¥6,543		雑益	¥39
活動費	新歓諸経費	¥116,909			
	合宿補助費	¥20,751			
	その他イベント補助費	¥160,729			
	社会人対応費	¥11,196			
その他	振込手数料	¥12,540			
	講座消耗品	¥10,527			
	講座用設備投資	¥14,980			
	雑費	¥556			
支出合計		¥544,280	収入合計		¥915,338
次期繰り越し		¥371,058			

©2025 Waseda Career Society

第三期運営メンバー名簿

氏名	学部	学年	肩書
郡司遼太郎	基幹理工学部	3	代表
植木健介	創造理工学部	3	副代表 開発局長
藤嶋大暉	政治経済学部	3	会計 渉外局員
中井幸哉	基幹理工学部	2	総務補佐 広報局長
丹羽寧惟	社会科学部	2	総務補佐 渉外局員
小暮洋輝	政治経済学部	4	早稲田祭実行委員長
伊藤雅人	政治経済学部	4	早稲田祭実行委員
井村駿介	政治経済学部	4	第二期報告書作成委員長 開発局員
石川明日翔	政治経済学部	4	広報局員
カンイェソル	政治経済学部	4	開発局員
古見優太	教育学部	3	開発局員
反町真惟子	文学部	2	開発局員
北里咲智子	文学部	2	開発局員
西山義容	教育学部	2	開発局員
坂元里香	先進理工学部	1	開発局員

氏名	学部	学年	肩書
島田奏祐	商学部	1	開発局員 総務局員 サロンメンバー
霜田稀菜	文学部	1	開発局員
金澤希一郎	法学部	2	広報局員
澤田りほ	文化構想学部	2	広報局員
チョミンス	基幹理工学部	2	広報局員
高野諭	文化構想学部	1	広報局員 サロンメンバー
西村 渉吾	教育学部	1	広報局員
近藤暈太	教育学部	3	イベント局長
小松令奈	教育学部	3	イベント局員
高松莉良	政治経済学部	3	イベント局員
中島侑祐	文化構想学部	3	イベント局員
藤原綾音	教育学部	3	イベント局員
森山絵美菜	教育学部	3	イベント局員
八島主宇	創造理工学部	3	イベント局員

氏名	学部	学年	肩書
桑澤小姫	教育学部	2	イベント局員
高橋留伊司	基幹理工学部	1	イベント局員
太田丸朗	教育学部	2	渉外局長 総務局員
秋津あかね	教育学部	2	渉外局員
板谷海里	教育学部	2	渉外局員
堅田悠介	文化構想学部	2	渉外局員
窪田初音	文化構想学部	2	渉外局員
門馬瑠花	社会科学部	2	渉外局員
福﨑ひとみ	文学部	1	渉外局員
山田悠生	商学部	1	渉外局員
中山健志	先進理工学部	1	渉外局員
安部創登	社会科学部	2	新歓責任者 総務局員
張泰成	商学部	1	サロンメンバー 開発局員
綿貫百花	政治経済学部	1	サロンメンバー イベント局員

以上、43名

©2025 Waseda Career Society

05. Special Thanks

後援・協賛・賛助・協力 41



©2025 Waseda Career Society

後援・協賛・賛助・協力

今年度お世話になった多方面の皆様に、感謝申し上げます。

講座・イベントにおいてご協働いただいた企業様(順不同)

Lifortune株式会社様、CPAエクセレントパートナーズ株式会社様、日本駐車場開発株式会社様、日本ヒルティ株式会社様、
タマホーム株式会社様、PwC Japan合同会社様、株式会社Quest様、日本経営心理士協会様、ガイアックス株式会社様、
アチーブメント株式会社様、パーソルＨＤ株式会社様、Percify株式会社

第三期に実施された経営者交流会に参加してくださった企業様(順不同)

Lifortune株式会社様、マークスライフ株式会社様、デジタルアスリート株式会社様、株式会社フォーエス様、
ティーコム株式会社様、株式会社いかしあい隊様、一般社団法人日本適性力学協会様、有限会社酸京クラウド様、
株式会社小寺学園様

©2025 Waseda Career Society

早稲田キャリア研究会
第三期活動報告書

発行月	2025年4月1日 初版
編集	郡司遼太郎、植木健介、藤嶋大暉
協力	第三期・第四期総務局の皆様
発行	早稲田キャリア研究会
	〒169-0051
	東京都新宿区西早稲田１丁目６－１